別紙２

異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：張　蘭星
職業：学生
所属：県立広島大学
専門分野：企業マネジメント専攻
日本語レベル：N1 合格　上級（講義ができる）
英語レベル：初級　（日常会話）

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

私は中国・西安出身です。中国で約 10 年間金融業界に勤務した後、日本へ留学しました。現在は大学院で研究を行いながら、「多文化共生講師」として活動しています。また、世界遺産を巡ることが大好きで、これまでにトルコ、シンガポール、タイ、日本、そして中国国内の各地で世界遺産を訪れてきました。様々な国の文化・歴史・風景に直接触れた経験は、私にとって大きな財産です。そして、日本の伝統楽器である琴の演奏を通じて、地域の皆さんへの文化発信にも積極的に取り組んでいます。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

中国の歴史や地理、伝統文化に加えて、皆さんと同世代の中国の学生たちの「リアルな生活」や、日中両国に共通する「漢字文化」についてご紹介したいと考えています。これらを通じて、「多様な価値観を知ることの面白さ」や、異なる文化の中にも「共通点」があることに気づいてほしいです。互いの違いを尊重しながら、グローバルな視点を持って広い世界へ関心を広げるきっかけになればうれしいです。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

広島の児童・生徒の皆さん、こんにちは！ 張 蘭星(ちょう らんせい)です。

私は中国・西安出身です。現在は県立広島大学大学院で学びながら、「多文化共生講師」や「ひろしま留学大使」として、地域の皆さんと交流しています。特技は、中国と日本の伝統楽器である琴の演奏です。

私は世界遺産を巡る旅が好きで、これまでいろいろな国を観光してきました。その実体験や、中国のリアルな姿を、楽しくお話ししたいと思っています。皆さんと一緒にワクワクしながら学べる時間を、心から楽しみにしています！